



**三越伊勢丹グループ労働組合 名古屋三越支部速報**

2024年5月20日に開催した労使協議会の内容をお知らせします

議長:	鈴木社長(以下敬称略)
会社:	安藤 坂 河合 喜多村
組合:	林 松井 牛田 中住

**2024年5月20日労使協議会にて、2024年6月支給賞与要求を労働組合よりおこない、会社より要求内容どおりの回答をいただきました。**



労使協議会概要

- ・ 2024年5月20日(月)に2024年度第1回労使協議会をおこないました。
- ・ 議題としては労働組合より2024年6月支給賞与に関する賃金要求をおこないました。
- ・ 2024年6月支給賞与要求に関しては2023年春の交渉時(2023年2月頃)において、会社と確認をしたベースとなる賞与支給表を元にいくつかの業績評価指標を踏まえ、今回要求をおこないました。
- ・ 中位評価における具体的な支給ヵ月としては社員・メイト社員は1.30ヵ月(※1.40ヵ月)とベースとなる賞与支給表に加算し要求を、エルダースタッフFⅠ・FⅡ・FⅢは0.85ヵ月、エルダースタッフPにおいては0.55ヵ月とベースとなる賞与支給表通りを要求しました。  
※ステージA・ステージBの役割①～③の方の中位評価における支給ヵ月数
- ・ 上記内容に関しては、2024年4月下旬から5月中旬にかけて労働組合機関会議や動画配信を中心としたメンバーズVOICEなどにより、メンバーに説明をおこない要求案を固めてきました。(※詳細は右記二次元コードをご参照ください。)
- ・ 上記要求に対して即日会社より満額回答をいただきました。
- ・ 以下その際の会社回答と労働組合からのコメントを掲載いたします。

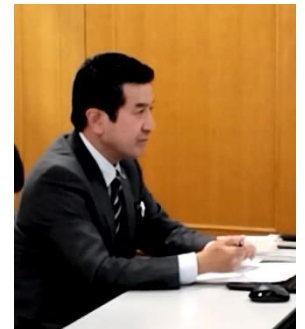
▼2024年6月支給賞与要求内容



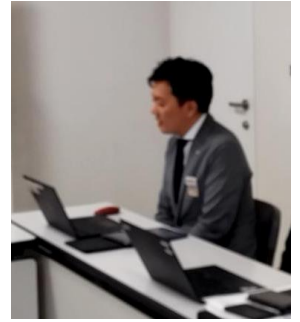
リンク先は労働組合 HP です。  
ID: 55+社員番号 8ヶタ  
PW: 生年月日 8ヶタ

2024年6月支給賞与要求に対する会社回答 総務・経営企画部長 安藤朋彦さん

- ・ 要求通り「了」と回答させていただきます。
- ・ 新型コロナウイルス禍において名古屋三越は4期連続営業赤字と苦しんできました。
- ・ それが2023年度は5期ぶりに黒字化を果たすことができました。悲願の黒字化と言えると思います。
- ・ 利益を上げて賞与に還元をしたいというのはこれまでも申し上げてきた通りでございまして、これも労使双方の悲願と言えると思います。
- ・ そして今賞与について増額をするという判断をしてきました。
- ・ 皆さんの頑張りで黒字化を果たし営業利益予算を大きく上回ることができました。本当にありがとうございました。



- ・ この度は2024年6月賞与要求に対して満額の回答をいただき、誠にありがとうございました。
- ・ この間、動画配信にて限定メンバーズVOICEをおこない、合意形成をはかる対応を取ってまいりました。
- ・ 今回要求内容を組合員のメンバーに伝える際、強調して伝えてきた部分としては、名古屋三越の業績状況と特に社員・メイト社員についてはベースとなる賞与支給表の水準以上の賞与支給を要求することの意味合いを伝えてきました。
- ・ 今回の賞与に関しては「2023年度はメンバーの日々の頑張りにより営業利益黒字化と目標を上回る着地であること、2024年度以降も働き方の変化を継続し、利益を出し続ける必要があること」というメッセージをお伝えしてきました。
- ・ メンバーからも「ようやく明るい兆しが立ち込め賃金にも反映されるとモチベーションになる、賞与は今回の水準で終わりではなくより高い水準へと従業員にも還元して行ってほしい」という声を多く頂戴しました。
- ・ 安定的な収益確保とともに、労働組合のビジョンにも掲げております、賞与年間支給水準3ヶ月の早期実現、そして更に高みへ道筋を示せるよう、奮闘するメンバーの声を丁寧に拾いつつ、労使議論させていただきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



- ・ まずは新型コロナウイルス禍の非常に厳しい状況を、労使協調で乗り越えていただいたことに心から感謝申し上げます。
- ・ この間の経費コントロール、特に固定費の減少に傾注していただいたおかげで、売上が回復した際の利益の伸長幅が大きい会社へと構造を変えることができました。
- ・ 従って、2023年度の営業利益実績が6億程度まで積み増せたこと、また2024年度の営業利益予算が現時点で12億強と計画できていることは、皆さんの努力の賜物だと思っています。
- ・ それにより、今回要求いただいた支給ヶ月を満額回答いたしました。労働組合と同様に、私としても、現在の支給ヶ月は一つの通過点であるという認識を持っています。
- ・ これからメンバーの皆さんには、私が名古屋三越に来て実感した『ストロングポイント』をどんどんお話しいたします。加えて「当社が恵まれている機会」、例えば「人流が戻っていること」や「商圏の重心が栄に回帰していること」、「栄店が建つ栄交差点が一番いい場所であること」、さらには「星ヶ丘店があること」や「栄店とラシックを一つの店として捉えたときに見える景色」をもとに、これから私たちがどのようにして次のステージに挑んでいくのかという作戦をしっかりと立てたうえでお話ししていきます。
- ・ これらの実現に向けては、相当のスピード感を持って、かつ現在の売上トレンドを落とさずに推移していくことになる為、仕事の仕方に工夫を重ねながら効率よく進めていくことが必要です。
- ・ 将来に向けては、皆さんと一体となって労使協同で高みを目指していきたいので、一緒に頑張っていきたいと思います。



2024年6月社員・メイト社員・メイト社員-h賞与要求(案)

- 2023年春の交渉時に確認した賞与支給表を元に2024年6月賞与要求は下記の通り要求をします。
- ステージBは2023年度年間、ステージC・メイト社員・メイト社員-hは2023年度下半期の期間の評価にもとづいて、下表の支給カ月を要求する

評価	ステージA・ステージB 役割給①～③	ステージB 役割給④～⑤	評価	ステージC・ ステージC-t	メイト社員・ メイト社員h
9	1.75カ月	1.65カ月			
8	1.65カ月	1.55カ月	SS	—	1.60カ月
7	1.60カ月	1.50カ月	S	1.50カ月	1.50カ月
6	1.50カ月	1.40カ月	A	1.40カ月	1.40カ月
5	1.40カ月	1.30カ月	B	1.30カ月	1.30カ月
4	1.30カ月	1.20カ月	C	1.20カ月	1.20カ月
3	1.20カ月	1.10カ月	D	1.10カ月	1.10カ月
2	1.15カ月	1.05カ月			
1	1.10カ月	1.00カ月			

- 上記にくわえ、2020年度春の交渉にて労使合意した賞与の部門業績による加点的な対応の解消分として以下の計算式によって算出される原資分も反映しています。

2024年3月31日時点の社員・メイト社員・メイト社員-hの 本給総額	×	17.5% (加点した評価者数の割合)	×	0.1カ月 (加点的な評価分)
--	---	------------------------	---	--------------------

社員・メイト社員・メイト社員-h賞与評価について

- 賞与評価を、下記のとおり要求します。
- ◇ ステージBは、評価をポイント換算した全体平均を5.1ポイント以上とする
- ◇ ステージC・メイト社員・メイト社員-hは、B評価中心の正規分布とする
- 基本賞与は、半期もしくは通期の賞与評価を反映させることで、賞与支給水準を変動させます。
- 賞与評価はステージBが9～1の9段階、ステージC(ステージC-t含む)がS～Dの5段階、メイト社員・メイト社員-hがSS～Dの6段階評価とします。
- メイト社員・メイト社員-hのSS評価はB評価中心の正規分布(S～Dの5段階の分布)をおこなったうえで、S評価者のうち賞与評価評点合計上位者の15～20%程度を加点評価します。

社員・メイト社員・メイト社員-h 支給細則

支給日	2024年6月14日	勤情調査期間	2023年10月1日～2024年3月31日						
支給基準日	2024年3月31日時点の本給にもとづく	支給対象者	2024年6月14日賞与支給日当日に在籍している方						
算出式	上表の支給カ月 × 勤情率(出勤日数※1 ÷ 所定労働日数※2) = 個人別支給額 ※1 出勤日数…所定労働日数から、欠勤、産休、休職期間などを控除した日数 ※2 所定労働日数…勤情調査期間中の各休や連続休暇といった休日を除く、出勤日に該当する日数								
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>2024年4月2日～2024年6月14日までに期中入社した方は賞与支給の対象外</li> <li>2023年10月1日～2024年3月31日の勤情調査期間中に入社した方は、賞与評価と勤情率による賞与支給カ月の算定をおこなった結果が0.50カ月を下回る場合は0.50カ月を支給</li> <li>2024年4月1日付で入社した方は一律0.50カ月の支給</li> <li>賞与支給額は、100円単位として100円未満は切り上げ</li> <li>ただし、期間中欠勤・休職等のあるものは、それぞれ定めた支給方法で支給する。その際、欠勤日数・休職日数等(育児休職・介護休職等※)は期間中の休日・連続休暇等を除く実質日数とし、それにより出勤日数を算出する。なお、賞与日割については、それぞれの期間の所定労働日数を基礎に算出する。</li> <li>※その他の無給の休暇・休職等も含む</li> <li>2024年4月1日付でメイト社員から社員採用された方は、メイト社員としての賞与評価をおこなったうえで社員の支給基準を適用(基準となる本給は2024年4月1日時点のもの)</li> <li>2024年4月1日付で昇格した社員の基礎となる本給は、昇格・進級前の2023年3月31日時点のもの</li> <li>業務災害による欠勤は控除の対象ではなく、通勤災害による欠勤は控除対象</li> </ul>								
参考	【賞与支給の前提となるステージ毎の本給】 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>ステージA・B</td> <td>資格給+個人成果給+役割給</td> </tr> <tr> <td>ステージC</td> <td>ベース給+役割成果給 ※ステージC-tはベース給のみ</td> </tr> <tr> <td>メイト社員・メイト社員-h</td> <td>基本給 + 職務給</td> </tr> </table> ※扶養家族手当、転勤地域手当、その他調整給・手当は除く			ステージA・B	資格給+個人成果給+役割給	ステージC	ベース給+役割成果給 ※ステージC-tはベース給のみ	メイト社員・メイト社員-h	基本給 + 職務給
ステージA・B	資格給+個人成果給+役割給								
ステージC	ベース給+役割成果給 ※ステージC-tはベース給のみ								
メイト社員・メイト社員-h	基本給 + 職務給								

## エルダースタッフ賞与要求(案)

2023年春の交渉時に確認した賞与支給表を元に2024年6月賞与要求は下記の通り要求をします。

- エルダースタッフの賞与評価は、S～Dの5段階評価とし、B評価中心の正規分布する
- 2023年度下半期の賞与評価でSもしくはA評価を取得した場合は、下表のとおり賞与支給ヵ月が加算される

評価	エルダースタッフⅠ	エルダースタッフⅡ	エルダースタッフⅢ	エルダースタッフP
S	1.35ヵ月	2.05ヵ月	2.05ヵ月	0.95ヵ月
A	1.15ヵ月	1.45ヵ月	1.45ヵ月	0.75ヵ月
B	0.85ヵ月	0.85ヵ月	0.85ヵ月	0.55ヵ月
C	0.85ヵ月	0.85ヵ月	0.85ヵ月	0.55ヵ月
D	0.85ヵ月	0.85ヵ月	0.85ヵ月	0.55ヵ月

## エルダースタッフ 賞与評価について

- 賞与評価を、下記のとおり要求します。
- なお、賞与評価はS～Dの5段階評価とします。

◇ B評価中心の正規分布とする

## エルダースタッフ 支給細則

支給日	2024年6月14日	
支給基準日	エルダースタッフⅠ・Ⅱ・Ⅲ	2024年6月1日時点の月額基準給料にもとづく
	エルダースタッフP	2024年6月1日時点の月額基準給料にもとづく
勤情調査期間	2023年10月1日～2024年3月31日	
支給対象者	2024年6月14日賞与支給日当日に在籍している方	
算出式	上表の支給ヵ月 × 勤情率(出勤日数※1÷所定労働日数※2) = 個人別支給額 <small>※1 出勤日数…所定労働日数から、欠勤、産休、休職期間などを控除した日数</small> <small>※2 所定労働日数…勤情調査期間中の各休や連続休暇といった休日を除く、出勤日に該当する日数</small>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>2023年10月1日～2024年6月1日までにエルダースタッフⅠ・Ⅱ・Ⅲ・エルダースタッフPに転換された方および職種・週契約時間を変更された方の基本給は、2024年6月1日時点で算出し、エルダースタッフⅠ・Ⅱ・Ⅲ・エルダースタッフPとしての基準にもとづいて支給</li> <li>賞与支給額は、100円単位として100円未満は切り上げ</li> <li>エルダースタッフPは、月初から月末までの1ヵ月間に出勤がない場合、賞与支給額の6分の1が控除される</li> <li>短時間勤務取得期間は、評価加算と基本賞与の合計額が時間按分される</li> <li>ただし、期間中欠勤・休職等のあるものは、それぞれ定めた支給方法で支給する。その際、欠勤日数・休職日数等(育児休職・介護休職等※)は期間中の休日・連続休暇等を除く実質日数とし、それにより出勤日数を算出する。なお、賞与日割については、それぞれの期間の所定労働日数を基礎に算出する。</li> <li>※その他の無給の休暇・休職等も含む</li> <li>業務災害による欠勤は控除の対象ではなく、通勤災害による欠勤は控除対象</li> </ul>	

## 今後のスケジュール

### 2024年6月賞与支給までのスケジュール

